

臨床実習計画書

区分 ⁱ			
課目 ⁱⁱ			
細目 ⁱⁱⁱ			
実習概要 ^{iv}			
一般目標 ^v (GIO)			
到達目標 ^{vi} (SBO)			
実習日時 ^{vii}			
時間 ^{viii}	時間	分	場所 ^{ix}
服装 ^x			携行品 ^{xi}
教材 ^{xii}			
研修資料 ^{xiii}			
学習課題 ^{xiv}			
評価方法 ^{xv}			
評価者氏名 ^{xvi}			
その他			
担当者氏名 ^{xvii}			
作成年月日 ^{xviii}			作成者氏名 ^{xix}

記載にあたっての注意事項

i 診断・核医学・放射線治療のいずれか

ii 一般撮影・透視診断・血管造影・CT・MRI・超音波・シンチグラフィ・PET・
外照射・組織内照射等

iii 胸部・腹部・骨・消化器・乳房・心臓等

iv 実際の実習内容を記載

v 期待される成果を表現したもので、複雑な概念を持つ動詞(例えば、理解する、
適用する、評価する、修得するなど)用いて表現することが望まれる。

vi 観察可能な具体的行動(実習者が何ができるか)を表現したもので、主語は実
習者であり、説明する、使用する、判断する、指摘する、比較する、表現する、
模倣する、実施する、測定する、操作する、動かすなどの動詞が用いられるこ
とが望まれる。また、1つの一般目標に対して数個～10数個の行動目標が望ま
れる。

vii 実習日時(例 2007年9月3日(月)～7日(金)まで)

viii 実習ののべ時間

ix 実習の場所

x 実習者の服装

xi 実習者が携行する物品

xii 教育者側が準備するもの

xiii 学習課題や評価試験に関する資料について(資料名や保管場所等)

xiv 評価するにあたっての課題

xv 報告書提出・客観試験・口頭試験・論述試験・シミュレーションテスト・実地
試験・観察記録等

xvi 評価の担当者

xvii 実習の担当者

xviii 計画書の作成年月日

xix 計画書の作成者